

ヨコハマR委員会 第1回全体会議

日時：平成22年11月30日（火）

14：00～15：40

場所：松村ビル地下1階会議室

1 あいさつ

局長：G30の次の計画は年内に公表予定。この計画の中心は発生抑制だが、分別・リサイクルに比べて効果等がわかりにくいいため、どのように理解してもらうかを考えていかなければならない。G30も、当初は同じような状況だったが、今は浸透している。ヨコハマR委員会には、この発生抑制の中核を担っていただきたい。

2 委員自己紹介

3 趣旨説明

事務局から説明

次期計画素案：リデュースがポイント。局としても、リデュースは重要なものと認識しており、計画でもはっきり位置づけている。

次期計画の推進体制：行政としても事業者も含め、また区とも連携してG30以上の努力をもって広報・啓発に取り組んでいき、市民・事業者のみなさまとこれまで以上に連携していきたい。

4 提案等に対する検討の進め方

事務局から説明

検討会議は、市民委員全員・その案件に関連する事業者・その他興味のある委員が参加。検討会の結果のフィードバックは随時行っていく。

（質疑応答）

委員：要綱第5条に事務局を資源循環局と温暖化事業本部の2つに置くという記載があるが、両方に置くのか？また、リデュースの取組の結果・検証の評価をどういう観点でどこまで厳しく行うのか？G30の次の計画では、ごみとCO₂を目標にしているが、データの検証を行うのか？個人的には、この委員会を通してライフスタイルの転換のきっかけにしていくことでいいと考えている。

事務局：事務局が両方にあるのは、ごみの削減は環境負荷の低減、CO₂の削減につながっているのが理由。評価等に関しては、データ等によって厳密にということでは考えていない。運動論として、広く・長い目で、ごみ削減による環境負荷の低減を考えていければよい。また、どれだけ、伝わったか・わかりやすかったかを重視していきたい。

委員：切り口は何でもいいと思うが、ライフスタイルの転換が趣旨。また、ごみとCO₂は分けて考えるものではなく、つながって考えるもの。検証については、厳密ではなくても、ある程度に見える化は必要だと考えている。

5 議事

- (1) 委員長・副委員長選出 → 西尾委員長、岩崎副委員長に決定
- (2) アドバイザー委員選出 → 眞田委員、加藤委員に決定

6 情報提供等

- (1) キックオフミーティング：事務局から報告
- (2) ウェブサイト：事務局から説明。イベント登録の活用を依頼。
- (3) マイボトルスポットについて：事務局から説明

(長屋門公園)

委員：長屋門公園は団体で散歩する人が多い。のぼり旗を表と中に立ててあり、目にした人は興味を持って、質問をしてくる。

(鶴見ふれあい館)

委員：あまり宣伝ができておらず、一般の方々には知られていないのが現状。今までの利用は数件に留まっている。立地条件は良いので、是非みなさん広めてください。

(4) 区民まつり等でのPRについて

(食品トレー)

委員：現在、2つのスーパーマーケットと検討をしているところ。何を減らせるかということでも話し合っ、身近な食品トレーから減らしていこうということになった。食品トレーの削減に向けて、2月にキャンペーンを行う予定なので、これを機に色々なスーパーマーケットを巻き込んでいきたい。瀬谷区で検討に参加した事業者からは、「この機会に状況を確認したところ、生魚などの下に敷いてドリップを抑える吸水シートを、ひものなどの敷く必要ない商品にも使うなど、無駄な使用が多かったことがわかり、社内で大きな削減成果があった」という報告があり、このようなやりとり自体が非常に有益である、と意を強くした。

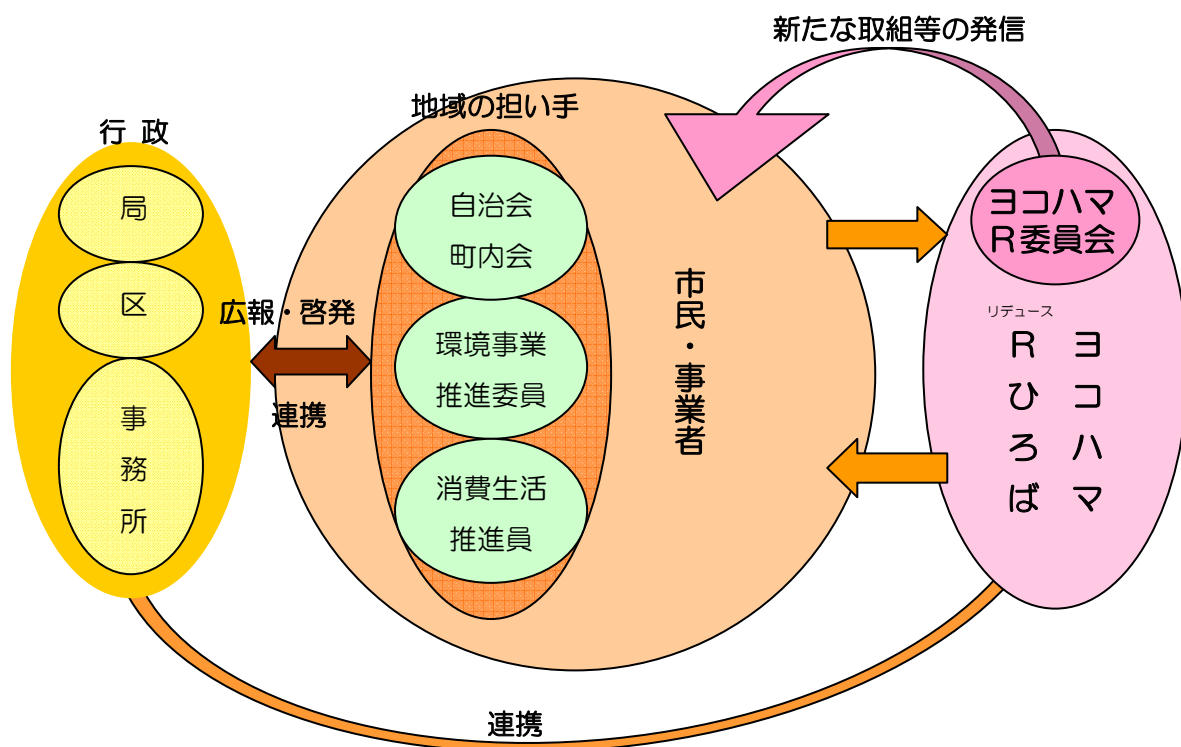
(都筑区民まつり)

委員：マイボトルスポットを区民まつりで設置した。かなりの人が来場され、利用も多かった。今後もこの取組を広げていきたい。

(5) その他

- ・ エコプロダクツ 2010、環境家計簿について→地球温暖化対策課から紹介
- ・ 第6次横浜市産業廃棄物処理指導計画について→産業廃棄物対策課から説明。

リデュースの推進体制について



各組織の役割

1. ヨコハマRひろば
リデュースについて広く情報を発信し、連携の仕組みづくりなどを行います。
2. ヨコハマR委員会
新たな取組の実現等を通じて、市民や事業者に具体的なリデュース活動を提案します。
- 3 資源循環局（事務所を含む）及び区役所
自治会・町内会、環境事業推進委員、消費生活推進員等、各地域の人材を活かして、全体的な啓発活動を行います。リデュース委員会から生まれた新たな取組を広める活動も行います。

※「横浜G30プラン」につづく新たな一般廃棄物処理基本計画について

- ・ 中心施策は「リデュース」
- ・ 3つの計画目標の1つ、「もっとチャレンジ・ザ・3R」→総排出量（ごみと資源の総量）を、平成37年度までに10%以上（約13万トン）削減
- ・ 年内に確定し、公表予定
- ・ 年明けから、資源循環局及び区役所により、市民・事業者に向けたPRに着手

ヨコハマ^{リデュース}R委員会について

1 委員会が目指すこと

調整や、コーディネート等を通じた「リデュースの取組実現に向けた支援」

2 役職及び担当（案）

- ・ 委員長
- ・ 副委員長
- ・ アドバイザー 2名程度（提案・相談が寄せられた際、軽微な支援として検討会議を待たずに対応するかどうか等の相談を受ける）

3 任期

原則として2年間。（しかし、再任を妨げない。）

※ 今期は、24年3月までの1年半とします。

4 報酬

会議、打ち合わせ等 1回につき1500円。（交通費として）

※ 検討会議、全体会議以外のプロジェクト打ち合わせ等については、年間15回を上限に参加回数分を支出（今年度は上限7回）

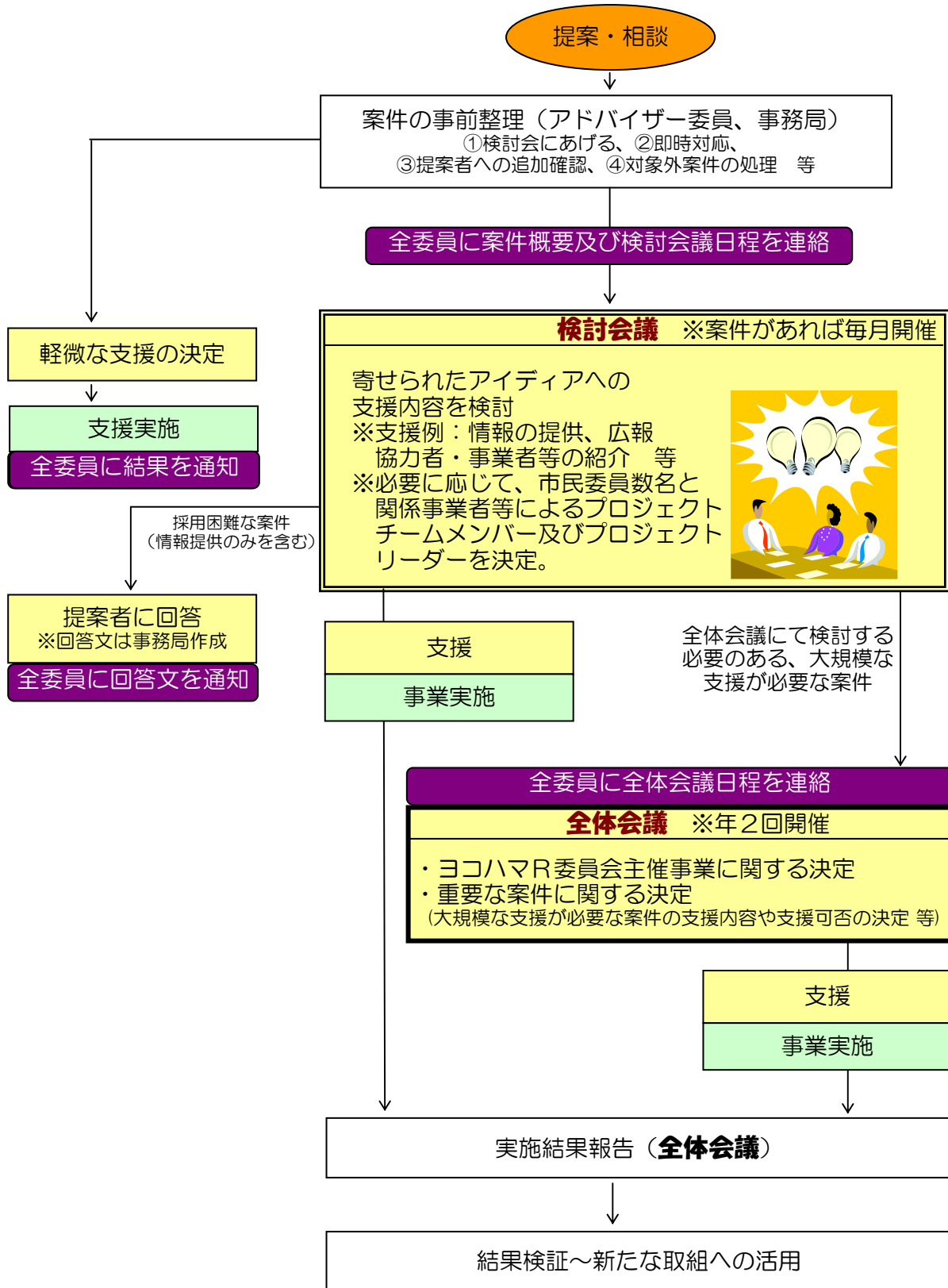
5 活動例

- ・ 寄せられた提案・相談の取扱及び支援の決定（委員自らの企画を含む）
- ・ 委員会の活動をより効果的にしていくための活動
→ PRパッケージの検討、イベント出展、優れた取組をしている事業者のインタビュー記事作成（HP等に活用） 等

6 会議組織及び案件の処理フロー ※別添資料参照

- ・ 全体会議
ヨコハマR委員会主催事業及び重要な案件に関する決定を行う
（例：大規模な支援が必要な案件の支援内容や支援可否の決定、案件の報告 等）
年2回開催
※ 全委員が出席
- ・ 検討会議
寄せられた提案・相談について、支援可否及び支援内容等を検討 等
毎月定例日に開催（例：第2水曜日 等）
※ ただし、案件がない月は開催しない（1週間前に中止を連絡）
※ 市民委員及び参加を希望する事業者委員が出席。

委員会 提案等の取扱フロー



リデュース ヨコハマ R 委員会設置要綱

制 定 平成 22 年 10 月 1 日(局長決裁)

(目的)

第 1 条 資源とエネルギーの消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された循環型社会を横浜に実現するため、市民、事業者及び行政が共通の認識と目標のもと、廃棄物のリデュース（発生抑制）の具体的な取組の実現に向けて 3 者が行動するヨコハマ R 委員会（以下、「委員会」と言う。）を設置する。

(活動内容)

第 2 条 委員会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 委員会に寄せられた廃棄物のリデュース（発生抑制）の取組の実現に向けた検討、調整、支援。
- (2) その他、第 1 条の目的を達成するために必要な活動。

(組織と職務)

第 3 条 委員会は、有識者、事業者、団体等から推薦された者及び別表で掲げる者（以下、「委員」と言う）、30 名以内で構成する。

- 2 委員会の委員長 1 名と副委員長若干名を委員の互選により選出する。
- 3 委員長は委員会の議事を進行し、統括する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。
- 4 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。また、任期途中で委員の交代があった場合、任期は前任者の残任期間とする。なお、設置当初の委員の任期は、平成 24 年 3 月 31 日までとする。
- 5 軽易な案件について検討を行うために、委員長は、必要に応じて小委員会等を設置することができる。

(委員会)

第 4 条 委員会は、必要に応じて委員長が召集する。

- 2 委員長は、委員会の要請に応じて、関係機関等の出席を求めることができる。

(事務局)

第 5 条 委員会の事務局は資源循環局 3 R 推進課、地球温暖化対策事業本部地球温暖化対策課に置く。

(委任)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別途定める。

附則

(施行日)

この要綱は、平成 22 年 10 月 1 日から施行する。

別表（第3条第1項）

地球温暖化対策事業本部地球温暖化対策課担当課長
環境創造局企画課長
経済観光局商業振興課長
資源循環局企画調整担当部長
資源循環局3R推進課長

リデュース ヨコハマ R “ひろば” キックオフミーティング 開催報告

■ 日時、場所

平成22年10月3日（日） 13時半～15時半
はまぎんホールヴィアマーレ

■ プログラム

(1) 基調講演「始めよう！横浜らしく、かっこいい“リデュース”」

講師 筑波大学大学院教授 西尾 チツル 氏
(横浜市チャレンジ・ザ・リデュース三者検討会 座長)

(2) 身近な3Rの取組のご紹介

マイボトルスポットの紹介、市民委員によるもったいない探偵団やファイバーリサイクルの活動紹介、リデュースクイズなど



(3) 記念講演「地球環境と3R」

講師 千葉商科大学政策情報学部長・教授
東京大学政策ビジョン研究センターアドバイザー、環境省3R推進マイスター
宮崎 緑 氏

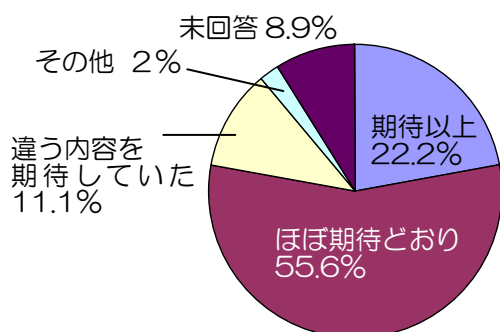


■ 来場者数

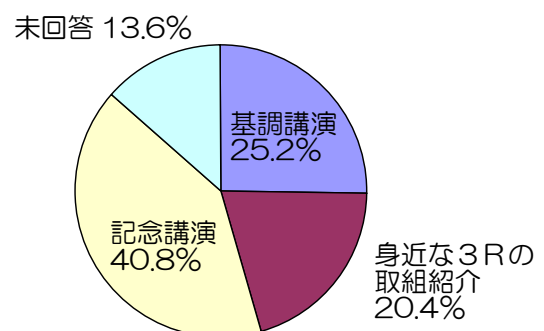
約170人

■ アンケート結果抜粋（回収数：90枚）

内容は期待していたとおりでしたか？



一番参考になったプログラムは？



ヨコハマRひろばウェブサイトについて

開設：平成22年10月1日

アドレス：<http://www.r-hiroba.jp/>

- 内容：①ヨコハマRひろばの説明
②リデュースの説明
③リデュースの取組や運動の説明
④3R関連イベント情報
⑤3R関連サイトリンク集
⑥3Rの取組の提案フォーム
⑦メールマガジン



◎今後の機能拡張予定

事業者・団体等の3Rサポーター登録システム（平成23年3月頃を予定）

◎10月のアクセス状況

トップページの閲覧数：約1500アクセス

資源循環局HPからの訪問：約30%

検索サイトからの訪問：約50%

- 訪問数の多いページ：1位 イベント掲載ページ
2位 取組紹介ページ
3位 リデュースの説明ページ
4位 ヨコハマRひろばの説明ページ

- 訪問する際の検索文字：1位 イベント名称
2位 ヨコハマRひろば
3位 横浜リデュース

◎イベント登録について



ヨコハマRひろばのウェブサイトには、3Rに関連するイベントであれば、主催者の方が自由に登録することが出来るイベント登録システムを搭載しています。

カレンダー形式や、一覧表示、住所別など、検索機能もあり、利用者の多いページとなっています。

皆様も積極的に、このイベント登録システムを御利用ください。

マイボトル関連取組について

1 取組の目的

マイボトルの普及を通じて缶・ペットボトル等のワンウェイ容器削減を図るとともに、その行動を通じて市民のライフスタイル転換の気づきとしていただきたいと考えています。

2 取組の内容

(1) 試行の実施

次に挙げた、施設の性格・施設運営ノウハウの異なる各所においてマイボトルスポットを試行して、マイボトル取組運営ノウハウの蓄積・検証をしたいと考えています。

- ・長屋門公園（瀬谷区）：22年10月1日から（無料提供）
- ・鶴見ふれあい館：22年10月13日から（新規開店有料提供）
- ・山手西洋館（エリスマン邸・外交官の家）：22年11月1日から（既設有料）
- ・このほか、イベントにおける臨時マイボトルスポットの運営なども参考に検証を図ります（11月3日都筑区民まつり等）

(2) 今後の展開例

試行での表示物や広報手法を検証したうえで、既にマイボトルスポットに類似したサービス提供を行っている事業者に対し、より認知度を高める取組として、本市マークの店頭掲出並びにサイト等による情報提供などの勧奨をしたいと考えています。



長屋門公園で：マイボトル使用のイメージ



鶴見ふれあい館で：入口に掲出されたのぼり



イベントで：都筑区民まつりでのスポット設置



楽しみながら“リデュース”を

お気に入りのドリンクと歩こう。 ～マイボトルスポットについて～

ごみ減量のキーワードである「^{スリーアール}3 R」の中で、もっとも環境にやさしい取組である「**リデュース**（ごみになるもの自体を減らしていく取組）」。

G30の次の環境行動である「リデュース」に、楽しみながら取り組んでみませんか？

1人あたり
年間4kg！



ペットボトルや缶、びんなどの飲料容器についてはリサイクルも進んでいますが、その使用量は年々増加を続け、**1人あたり年間約4kg**ものペットボトルを使っている計算になります。

ペットボトルの主な原材料は石油であり、また、店舗や自動販売機への輸送にもエネルギーがかかるため、温室効果ガスの削減や天然資源の有効利用という面でも、抑制策を検討する必要があります。

そこで活躍するのがマイボトル（水筒）！

マイボトルやマイカップを活用することで、ペットボトルなどのごみを減らすことができます。お気に入りの飲み物を持ってお出かけしてみませんか？

でも、外出先でマイボトルの飲み物を飲みきってしまったら…？
そんな時に使えるのが、**マイボトルスポット**です！

マイボトルの活用を広げていくために、マイボトルへのコーヒーなどの販売や水の提供などを行うスポットを増やすなどの、効果的なPRを行っていくための実験として、マイボトルスポットの試験的な実施を始めました。



マイボトルスポット
マーク

このマークが
目印です！

試行中のマイボトルスポット

長屋門公園（瀬谷区）、鶴見ふれあい館
山手西洋館（エリスマン邸、外交官の家）
※ 地図等については、裏面をご参照ください。



九都県市マイボトルキャンペーンに連携して、マイボトルへの飲料販売を実施しているコーヒーショップ等もあります。
ご利用の各店舗でぜひご確認ください。

マイボトルスポットのご案内

長屋門公園

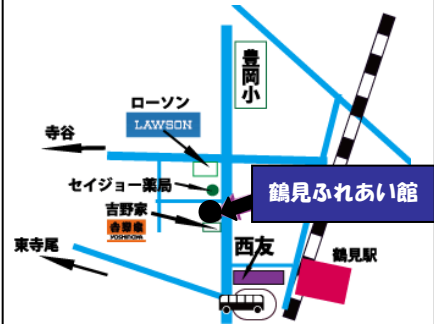
★お茶の提供、お湯・お水の無料サービス
相鉄線「三ツ境」駅より徒歩18分。

またはバスで約6分の「上阿久和（かみあくわ）」バス停から徒歩5分。



鶴見ふれあい館

★コーヒーなどの販売、
お水の無料サービス
JR鶴見駅西口から徒歩3分。



エリスマン邸、外交官の家

山手西洋館

★コーヒーなどの販売、お水の無料サービス

エリスマン邸：JR石川町駅から徒歩15分、

みなとみらい線元町・中華街駅

5番出口から徒歩10分

外交官の家：JR石川町駅から徒歩5分

